

環境学習みえ

2013年3月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年4回発行
表紙の人／明石 武美さん（NPO法人サルどこネット） 2013 No.52

春

野生動物との共存

猿害から探る共存への道



野生動物との共存 猿害から探る共存への道

ニホンザルやニホンジカ、イノシシなどによる農林産物への被害が全国的に深刻化しています。年々増加する捕獲数に反して、被害額は増大していく一方です。このような状況のなか、人間と野生動物が共存できる社会はつくれるのでしょうか？



ニホンザルってどんな動物？



サル目(霊長目)オナガザル科

体長 オス:53~60センチ メス:47~55センチ

日本だけにすむサルで寿命は20歳程度。顔とお尻は赤くて、尻尾が短いのが特徴的です。

今回は「人間とサルの共存」を目指す生き生きとした地域社会づくりを目的とし、活動しているNPO法人サルどこネットにお話を伺いました。

サルどこネットの活動を通して、人間と野生動物が共存を図っていくために、わたしたちは野生動物とどのように関わっていくべきかを考えていきます。

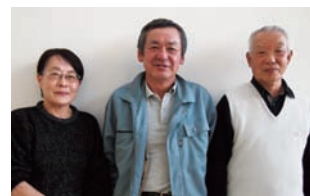
サルどこネットのはじまり

「サルどこネット」は三重県の獣害対策に関わる事業を引き継ぐ形で平成18年にNPO法人として設立されました。

三重県にはおよそ120のニホンザルの群れが存在すると推測されており、ひとつの群れには数十頭から100頭以上のサルがいます。

当時、三重県では獣害対策の事業の実施にあたり、各群れのなかの1~2頭を捕獲して電波発信器を装着していきました。装着したのは普段、群れのなかで行動しているメスサルです。群れを離れることがあるオスには装着しません。

お話を伺った人 NPO法人 サルどこネット



代表
あかし たけみ
明石 武美さん

理事
やまこし ゆきこ
山腰 山紀子さん

あだち いさむ
右 足立 勇さん

サルどこネットでは三重県内を中心に主にニホンザルの位置情報の提供や猿害に困っている地域において、より効果的な対策方法についての講習会やサルの追い払いの指導などを行っています。

平成15年までに県内のほとんどの群れに装着し、各群れの分布と行動域の調査が行われました。

これが現在のサルどこネットが提供する「サル位置情報システム」の基礎になっています。システム化することによって、どこに出没するかわからない野生動物の行動情報を共有することが可能になりました。

サルどこネットではこの情報をたくさんの人と共有し、各地域での猿害対策に役立てようという目的で「サル位置情報」の提供を行っています。

猿害が増えた原因

サルは稲、サツマイモ、大根など、ほとんどの農作物を好んで食べます。田畑は荒らされ、収穫ができなくなるのは農家にとって大変深刻な問題です。

「農業をしている者にとって、野生動物の問題は切っても切れない関係です」と話す明石さんもシイタケ栽培を家業とし、猿害に困っているひとりでした。サルどこネットの活動に関わるようになったのも猿害対策を始めたことがきっかけだったそうです。

猿害が増えた原因として、地球温暖化の影響や里山の土地開発など、様々な要因が挙げられます。そのなかでも山で暮らすサルが人里へ下りてくるようになったのは、農業形態の変化によるものではないかと考えられています。

山村地帯では過疎化が進み、農業に従事する人が少なくなっています。農業の機械化によって一日中、田畑で作業をする人の光景も昔ほど見られな

くなりました。サルにとって大敵であった人間が里山や田畑へ入ることが少なくなり、山で暮らしていたサルにとって「人里は安全においしいものが食べられるエサ場」と化してきたのです。

このような人間の生活の変化によって、山を行動域としていたサルと人間の生活域である集落との間にあった境界線が今、なくなってきました。

さらに人里近くで農作物を食べている母ザルは栄養状態がよく、出産回数が増えます。そのためサルの数は増加傾向にあり、猿害を拡大させています。

サルどこネット「サル位置情報システム」

群れの動きを知って、猿害対策を！

サルどこネットが提供する「サルの位置情報」は各地の調査員によって日常的に群れの追跡調査が行われ、その都度発信されています。

調査はまず、受信器を積んで車に乗り、群れが居そうな場所へと向かいます。電波発信器から発する群れごとの周波数の電波を受信して、次に指向性のあるアンテナを用いて方向を特定し、段々と目指す群れの位置を探っていきます。

そして調査員が群れの位置を確認すると、携帯電話などで情報の取得と送信を行います。この位置情報データは誰でも携帯電話お



写真提供：サルどこネット 山腰さん



写真提供：サルどこネット 山腰さん



3



サルの位置情報がわかる！

- ホームページでいつでも閲覧可能！
MapInfo版 <http://www.sarudoko.net/>
GoogleMap版 <https://sarunet.sarudoko.net/sarunet/>
YahooMap版 <http://www.sarudoko.net/moon/view.cgi>
- Twitter発信中！ [@sarudokonet](https://twitter.com/sarudokonet)
- サルどこネットホームページ <http://www.sarudoko.net/venus/>

よびパソコン上で閲覧することができるようになりました。

実際に情報を受けている農家の人は、自分の畑にサルが近づくと、できるだけ畑に居るようにして未然に被害を防ぐようにしているそうです。

調査を行っている山腰さんは「自分の集落を行動域とするサルの群れの動きを知り、地域ぐるみでの対策を立てるためにサルどこネットからの情報を利用してもらえたら」

と話してくれました。

効果的な猿害対策の方法は地域によって異なり、一部の人がだけで対策を行うのには限界があります。「サルの位置情報」を共有することによって、猿害を地域の課題として認識し、地域単位で具体的な対策を立てていくことが望まれます。

①②サルによる被害は農作物や人家でも見られます。
③アンテナで群れの位置を確認する明石さん。

地域で実践！ 「サル」の追い払い」

平成25年1月、亀山市城北コミュニティ主催による「サル」の追い払い」が実施されました。この地域には亀山C群とよばれる60頭程のサルが出没し、目撃される機会や農作物の被害も増えてきています。

そこで地域住民の参加を募り、集団での追い払いが計画されました。明石さんをはじめサルどこネットのメンバーでもある亀山サルの会の指導のもと、三重県の農業改良普及センターと亀山市も協力し、組織的な追い払いの体制がつけられました。

人間をよく知っているサル!? 亀山C群



亀山市内には10程のサルの群れが確認されており、各群れごとに行動範囲がだいたい決まっているそうです。そのなかでも亀山C群は、市街の民家の側を移動しながら生活する「シティーモンキー」です。亀山C群のサルは人間に近いところで生活しているため、人間慣れが進んでおり、今後は人的被害が出るのではないかと心配されています。

事前の「花火取扱講習会」

参加者を対象にロケット花火などの取扱方法についての講習会が行われました。



写真提供：亀山市

実施1週間前、追い払いたい方向や人員配置などの作戦を参加者同士で共有しました。今回の追い払いでは、元のすみかだった山へ返そうということになりました。

追い払いに向けて！「検討準備会」



「追い払い」実施当日

アンテナを用いて群れがいる場所を確認すると、他の場所で待機している仲間へ連絡します。群れが移動するルートを予測し、追い払いたい方向へと道筋を立てて、それぞれの場所に人が配置されています。



群れに近づくとロケット花火を打ち、サルに対して「あっちへ行け！」とおどします。途中、逃げるようにして走るサルも目撃されました。こうして全員で情報を共有し、協力し合いながら群れを動かす、少しずつ目的地まで追っていきます。

自分たちの地域は、 自分たちで守る！

今回の追い払いは群れのサルが散らばって逃げてしまったため、途中で諦めざるを得ない結果となりました。

群れが移動する場合、先頭から最後尾まで10メートル程に連なることもあるので、群れごとと追い払うことは簡単なことではありません。しかし城北コミュニティでは、今後も集団での追い払いを定期的に実施していく予定です。

追い払いを指導した足立さんは「人間はサルに対して、ここは来てはいけない場所だと知らせる意思表示をしなければなりません」と話します。

こうした取組みは地域の理解を得ながら団結し、継続していく必要があると感じました。サルにとって人間の生活域が心地よい場所にならないよう、追い払いを行い続けていかなければなりません。

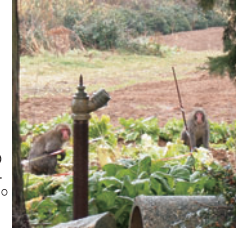
ネット・柵を設置する

サルが簡単に侵入できないよう、畑や果樹園にネットや柵などの囲いを設置します。サルは運動・学習能力が高い動物なので、ただ囲うだけではなく、様々な工夫も求められます。またそれだけでなく、人間が頻繁に出入りすることでサルの警戒心もより高まります。



エサを与えない！

野生のサルを見かけても、絶対にエサを与えてはいけません。餌付けされたサルは人間を見ると、エサを奪えるようになります。またサルが出没する地域では、畑に残った作物（サルの食べ残し）・収穫されない柿の実・お墓のお供え物・肥料用の野菜クズなど、エサになりそうなものを放置するのは、餌付けしていることと同じです。放置しないよう、地域で徹底しましょう。



みんなで追い払う！

サルの人間慣れが猿害拡大につながります。サルを見かけたら、多くの人で追い払いましょう。声を出したり、人間が近づくだけでもサルは怖がって逃げていきます。地域の追い払いではロケット花火やパチンコなどを使用し、集落から出るまで追い払いを続けていくことで「この集落は危険だ」と認識させることができます。



隠れ場をなくす

山林から集落の間には、荒廃した里山や耕作放棄地が増えてきています。こうした場所の茂みや藪のなかはサルだけでなく、野生動物の絶好の隠れ場となります。これらを見通しよく管理することで、野生動物が人里に近づきにくくなります。



野生動物との共存への道

サルどこネットでは日々の追跡調査を通して、二ホンザルの生態や各群れの行動パターンの把握に努めています。身近にいる群れの動向と被害の全体像を知ることが、より効果的な対策を立てるヒントになるといことがわかりました。そこで猿害がこれ以上拡大しないよう、農家だけでなく地域全体の課題として向き合いながら、サルが人家や田畑へくる目的となりそうなのは排除し、追い払いを行うなどの地道な対策を続けることが求められます。このまま動物の数が増えすぎて被害に歯止めがかからない状態になると、捕獲・駆除もやむを得ない選択になります。が、それだけで解決する問題ではありません。かつて、人間と野生動物はお互いの生活域でそれぞれがすみわけており、共存が成り立っていたように感じられます。人間の生活環境の様々な変化によって、サルをはじめとする野生動物の生活に少なからず影響を与えたことを考えると、すみわけるとい形で「共存への道」を探っていく必要があるのではないかと思います。追い払うなんてサルが可哀想だと思ってしまうこともあるかもしれませんが、そうすることによって、野生のサルがサルらしく生きていくことへとつながっていくのではないのでしょうか。同時に野生動物にとつての本来のすみかである山の環境を保全していくことも、今後、被害を防ぐひとつの方法であると考えます。

二ホンザルの生態を知り、共存への道を考えてみませんか？ サルどこネットを講師に迎え、講座を開催します！

夏休み子ども環境講座

7月中旬頃
募集開始！

おサルさんの生活を知ろう

日時 8月6日(火) 10:00～11:30

会場 三重県環境学習情報センター

募集人数 小学生と保護者 30人

※「夏休み子ども環境講座」の申込方法は他講座と異なりますので7月中旬頃にセンターホームページをご確認ください

指導者養成スキルアップ講座

参加者
募集集中！

野生動物との共存 ～二ホンザルの生活を通して～

日時 9月14日(土) 14:00～16:00

会場 三重県総合文化センター内
三重県生涯学習センター 中研修室

募集人数 40人 ※申込み多数の場合は抽選 その際は三重県在住者を優先します

締切 8月17日(土)

環境学習推進員の
伊藤幸治が
行ってきました!



津市立家城小学校で 「買い物ゲーム」

環境・体験講座のようすを
紹介するゾウ!



平成25年1月11日(金)

このコーナーでは、環境学習情報センターが行っている環境・体験講座のようすをご紹介します!

第一回目の報告は、津市立家城小学校での「買い物ゲーム」の出前講座です。

家城小学校では廊下ですれ違う児童の多くが「こんにちは」と声をかけてくれ、穏やかな校風を感じました。そんな中で、5・6年生32人で「買い物ゲーム」をしました。

「買い物ゲーム」とは、模擬スーパーマーケットへカレーの材料を買いに行き、買い物を通して「ごみ」について考



5・6年生の合同授業のせいか、
子どもたちはちよっぴり緊張気味!?

グループで
よく相談して、
楽しく買い物してね!



容器や包装などのごみの数と、
ごみを処理するための費用を
計算します。

うわー。
ごみまでいっぱい
買ってきちゃった!!



2回目の買い物では、グループで
しっかり意見を出し合っていました!

こっちを買った方が
いいかな?

える学習です。

始めに、「買い物ゲーム」のルールを説明した後、買い物を楽しみました。広告の品やタイムサービスの野菜や肉を買っていくグループが多く、「安さ」に目が向いているようでした。

買い物を終えてから、安く買ったものの「ごみ」に注目すると、ごみをたくさん買っていることに気づきます。そのごみを処理するのに多額のお金がかかることや、ごみの減量の必要性についてお話ししました。

そして、「ごみを減らす」「ごみ処理費

を安くする」をねらいに2回目の買い

物にチャレンジして、どのグループも半分以下にごみを減らすことができました。どんな工夫をしたか?の問いに、「レジ袋をもらわず、マイバッグを持っていく」「包み紙の少ないものを買う」などの意見を出してくれました。

買い物はごみを減らすチャンスです。実際の買い物でも、今日の学習を生かしてごみを減らす工夫をしてほしいですね。

【報告：環境学習推進員 伊藤幸治】

センターでの開催、県内各地に出前での 開催が可能です!

社会見学の時に、あるいは学校の授業、市民団体の学習会、公民館の講座、企業の環境学習に「環境・体験講座」をご利用ください。

「買い物ゲーム」

時間 90分

人数 15人～40人(6グループまで)

※学校など人数が多い場合は、クラスごとに実施させていただきます

対象 小学4年生以上

環境・体験講座一覧

水質チェック、大気調査講座、ごみ・リサイクル講座、ふろしき活用講座、紙すき体験、地球温暖化防止と省エネルギー講座、自然体験(自然観察、星のはなし、バードウォッチング、水生生物調査)、エコソング「うたおう&おどろう」など

◎講座の内容や対象については、環境学習情報センター Tel(059)329-2000までお問合せください。お申込みは原則、希望日の1か月前までをお願いします。



春のキッズエコフェアを開催! 入場無料

平成25年 **4月27日(土)・28日(日)**
10:00~15:00

春といえば、これ!毎年恒例になりました「春のキッズエコフェア」を今年も開催します。

今年は木工工作や自転車発電体験、アロマキャンドル教室や自然を感じるプロジェクト・ワイルド(28日のみ)などのブースが盛りだくさん!もちろん、飲食ブースもありますので、1日ゆっくりと春の休日をお楽しみください。

太陽を観察できる「きらら号」(28日のみ)や、電気自動車の試乗など、珍しい体験もできます。

みなさんのご来場をお待ちしています!!



今年度もみえ星空環境案内人が誕生しました!

全国共通資格である「星空案内人(星のソムリエ®)」を目指すことができる連続講座「みえ星空環境案内人養成講座」が平成24年11月~12月にかけて行われ、12月8日の「認定式」では28名が「みえ星空環境案内人」の資格を取得されました!

「星と人と環境の懸け橋」となる指導者になっていただけのように平成23年度から開催しています。

現在、鈴鹿峠自然の家(亀山市)や、鈴鹿市・亀山市のショッピングセンターなどでの天体観望会の講師も務めていただいておりますが、今後は、三重県環境学習情報センターの星たまごプラネタリウムでの解説も含め、様々なところで活躍いただきます。



観望会やイベント情報は
ブログ「センター通信」やFacebookページをチェック!

三重県のこどもエコクラブ活動紹介

環境美化委員会(鳥羽市)

「環境美化委員会」は、鳥羽市立鳥羽小学校の委員会のクラブです。

どのような活動を
していますか?



☆いろいろなカーテン

各教室の南側窓に日よけを設置しました。遮光シート、ゴーヤやヒヨウタン
のグリーンカーテンとバリエーション
は色々です。
グリーンカー
テンは夏の暑
い日差しをさ
えぎり、風を
通すので、室
内が涼しく感
じました。



☆地球に優しく「エコステーション」

校内に紙、プラスチック、アルミなどを分別する「エコステーション」を設置しました。

一目で分かる表示で、児童のゴミ分別に対する興味関心が高くなりました。

8種類に分けて
分別しています!



活動していて良かった
ことはなんですか?



普段の活動として、アルミ缶やエコキャップ集めをしています。落ちていた「ゴミ」を拾う姿もごく自然に見られるようになりました。こどもたちの環境に対する関心は徐々に高まっています。

こどもエコクラブ

こどもエコクラブイメージキャラクター「エコまる」

幼児(3歳)から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。メンバー1人とサポーターが1人いれば、いつでも登録できます!環境について知りたい、なにか始めたい方、ぜひご利用ください!
<http://www.j-ecoclub.jp>

- 入会費・登録費無料
- お問い合わせは環境学習情報センターまで



- ・メンバー数 15名
- ・サポーター数 1名
- ・クラブの構成 小学校校長の小竹先生に聞きました

講座・イベントNEWS

講座内容は、都合により変更になる場合があります。

PICK UP 環境リーダーを養成する講座がお近くで開催できます。

学校の先生の場合 地域NPOの場合 自治体の場合

2～3時間の研修にご利用ください。 メンバーのレベルアップにご利用ください。 市町での環境活動を増やすきっかけにご利用ください。

主催講座を出前講座としても実施できます。詳しくはお電話下さい。

環境学習指導者養成講座

プロジェクト・ワイルド エducーター（一般指導者）養成講習会

5月25日（土）開催

会場	松阪市嬉野ふるさと会館 多目的ホール	締切	4月24日（水）
内容	プロジェクト・ワイルドは、動物を中心とした参加体験型の環境教育プログラムです。このプログラムが使える指導者を養成します。（テキスト代必要）		

スキルアップ講座

ヒメタイコウチ観察会

8月3日（土）開催

会場	桑名市	締切	7月2日（火）
内容	絶滅危惧種であり、天然記念物にもなっているヒメタイコウチの生態や生息地の保全についてお話をうかがい、ヒメタイコウチを観察する予定です。		

環境学習指導者養成講座

環境基礎講座

①6月1日（土）②6月8日（土）③6月15日（土）④6月29日（土）
⑤7月6日（土）⑥7月13日（土）開催

会場	津市勤労者福祉センター（サン・ワーク津）	締切	5月11日（土）
内容	環境問題をいろいろな視点から考え、幅広く環境について学びます。1コマ単位での参加もできます。		

スキルアップ講座

生態学シリーズ「利己的な遺伝子」

①4月20日（土）②5月11日（土）③9月14日（土）
④12月7日（土）⑤2月8日（土）開催

会場	三重県総合文化センター内	締切	チラシ参照 ※お問合せください
内容	①古典的動物行動学 ②個体の環境・ハト派とタカ派 ③利他行動の仮面・血縁淘汰 ④母と子・女は弱い？それど母は強い ⑤雄と雌		

環境講座

バードウォッチング～春編～

5月5日（日）開催

会場	三重県上野森林公園	期間 申込	4月5日（金）～4月26日（金）
内容	渡ってきたばかりの夏鳥が観察できるかもしれません。お申し込みは募集期間内に上野森林公園へ。（先着順）		

スキルアップ講座

野生動物との共存～ニホンザルの生活を通して～

9月14日（土）開催

会場	三重県生涯学習センター 中研修室	締切	8月17日（土）
内容	NPO法人サルどこネットの活動を通して、ニホンザルの生態と特徴、獣害の現状とその原因、獣害対策、ニホンザルと人間の共存について学びます。		

環境講座

ヒヌマイトトンボ観察会

7月6日（土）開催

会場	宮川浄化センター（伊勢市大湊町）	締切	6月15日（土）
内容	宮川浄化センターで、絶滅危惧種のヒヌマイトトンボについてお話を聞いたあと、観察をします。		

環境工房

木に聞いてみよう～木が元気になる剪定のしかた～

6月9日（日）開催

会場	三重県上野森林公園 ビジターコテージ	締切	5月11日（土）
内容	環境ストレスによる樹木の耐性や適切な剪定方法について学び、実際に剪定実習も行います。（雨の場合は室内）		

こども環境講座

ホテルをよく知ろう！

6月1日（土）開催

会場	四日市市西村町営農センター・彦左川	締切	5月20日（月）
内容	ホテルを守っている団体によるお話を聞いたあと、実際にホテルの観察をします。		

環境イベント

春のキッズエコフェア

4月27日（土）・28日（日）開催

会場	三重県環境学習情報センター	申込	不要
内容	木の工作やアロマキャンドルづくり、自転車発電、プロジェクト・ワイルドなど楽しく環境を学べるよ。時間は10～15時で飲食ブースもあるよ。		

講座予定

イベント予定

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	http://www.eco-mie.com
休館日	年末年始（12月29日～1月3日）
開館時間	午前9時～午後5時30分
入館料	無料 ※お気軽にお越し下さい



Facebook @eco_zou

